

社会福祉法人 みぎわ会

令和4年度 事業報告書



「やさしい笑顔と 手の温もり
心やすらぐ いこいのみぎわ」

法人本部
特別養護老人ホーム みぎわ園
軽費老人ホーム いずみ寮
ケアハウス ハンナ館
デイサービスセンター ナオミ館
みぎわ園居宅介護支援事業所
みぎわ園在宅介護支援センター
みぎわ園ヘルパーステーション

社会福祉法人 みぎわ会本部	1	特別養護老人ホーム みぎわ園	21
1．令和4年度の事業計画と主な出来事等		1．利用状況	23
(1) 事業計画	3	2．行事、クラブ活動、ボランティア等	24
(2) 主な出来事	4	3．各部の目標と評価	26
(3) 規程等の整備		(1) 総務部	
(4) 機関紙等		(2) 相談部	
(5) 主な行事等	5	(3) 介護部1階	
(6) 防災訓練		(4) 介護部2階	27
(7) 地域公益活動		(5) 介護部3階	
		(6) 看護部	
2．役員会他	6	(7) 給食部	28
(1) 理事会・評議員会等開催状況		4．面会状況	
(2) 経営会議開催状況			
3．職員関係	7	軽費老人ホーム いずみ寮	29
(1) 研修関係		1．利用状況	
(2) 入退職の状況	13	2．行事、ボランティア等	31
(3) 実習、研修受入		3．目標と評価	32
(4) 有資格者の状況	14		
(5) 福利厚生	15	ケアハウス ハンナ館	33
		1．利用状況	35
4．委員会の目標と評価	16	2．行事等	
(1) 防火対策		3．目標と評価	36
(2) 給食			
(3) 入所計画		デイサービスセンター ナオミ館	37
(4) 感染症対策	17	1．利用状況	39
(5) 事故防止		2．主なプログラム	40
(6) 苦情解決		3．目標と評価	
(7) 身体拘束廃止	18		
(8) 第三者		居宅介護支援事業所	41
(9) サービス向上		在宅介護支援センター	
(10) 広報活動	19	1．居宅 担当状況	42
(11) 安全衛生		2．支援 活動状況	43
(12) 研修		3．目標と評価	
(13) 看取り介護	20	4．その他の活動	44
		みぎわ園ヘルパーステーション	45
		1．利用状況	46
		2．目標と評価	48
		3．外部交流会	

社会福祉法人
みぎわ会本部



4月 永年勤続表彰



4月 初の外国人採用
(ベトナム人介護士)



8月 介護体験実習受け入れ
(多可高校)



10月 配膳車新調



10月 給食職員研修



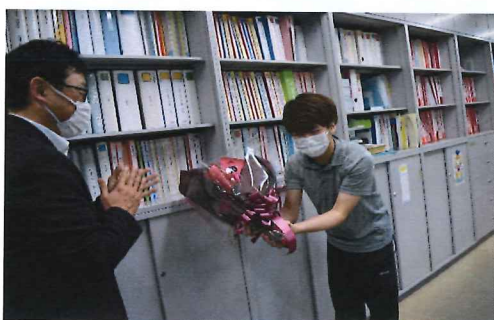
10月 職員インフルエンザ予防接種



11月 新型コロナワクチン5回目接種



1月 新年挨拶



1月 成人のお祝い



2月 みぎわ園個室化工事開始

1.令和4年度の事業計画と主な出来事等

(1)事業計画

●基本方針

社会福祉事業が多様化する中でキリスト信仰による創立精神に基づいた法人経営を行い、ご利用者及びご家族に信頼と安心を提供し、地域ニーズに沿った事業展開を実施する

●計画骨子

新型コロナウイルスにより社会が大きく変化し、今後はウィズコロナ、ポストコロナの時代となり、社会が新たな方向へ動き出すそうした中で社会福祉法人として、果たすべき役割や使命を明確にし事業を継続していかなければならない。そのために経営のさらなる安定を図り、人材不足等への対応を行っていく。人材不足への対応は介護現場におけるテクノロジーの活用、ICT(情報通信技術)やDX(進化したIT技術の浸透)が不可欠となる。また良質なサービス、ご利用者の豊かな生活を支援するために人材の育成が重要な課題である。そのための課題を以下のとおり掲げ職員が一丸となり実践していくものとする

●重要課題

① 利用者サービスの視点

ケアの見直しと意識統一による質の高いサービスを提供する
いずみ寮ご利用者の安心した生活継続のための支援をする
ハンナ館ご利用者の状態を把握しその人にあった支援していく
在宅サービス部門の連携を確立し、ご利用者の支援強化を図る

② 人材育成の視点

外国人雇用の定着と推進
介護職員の階級ごとの計画的な施設内研修の実施

③ 財務、設備の視点

ファイルサーバー・データベースサーバーの更新
介護負担軽減につながる機器の積極的な導入

④ マネジメントの視点

経営の更なる安定を図るための具体的な対策を検討する
いずみ寮は、関係機関、法人内施設と連携を密にし、運営を安定させる
ハンナ館は、ご利用者の変化に伴い、他事業所との連携を密にし安定した運営
地域(芳田自治協議会等)との連携や協力を行い、地域との交流に努める

●職員合言葉

「育つ、育てる、育ちあう」

(2) 主な出来事

月 日	部 署 等	出 来 事
令和4年 4 月 1 日	いずみ寮	施設長 武部規子から藤原昌史に変更
令和4年 4 月 1 日	ハンナ館	施設長 藤原昌史から大野幸代に変更
令和4年 4 月 1 日	みぎわ園	初の外国人介護士採用、ベトナム人2名(篠山学園)
令和4年 4 月 11 日	みぎわ園	コロナ感染 利用者21人、職員5人 5/28収束
令和4年 8 月 17 日	ナオミ館	コロナ感染 利用者9人、職員4人 8/29収束(10日間休館)
令和4年 12 月 13 日	法人	丸野貞彦 第2代理事長永眠
令和5年 1 月 13 日	みぎわ園	コロナ感染 利用者35人、職員17人 収束
令和5年 2 月 14 日	法人	法人監査(西脇市)
令和5年 2 月 20 日	みぎわ園	個室化工事(4人室5室)
令和5年 3 月 13 日	みぎわ園	センサーベッド30台納品
令和5年 3 月 17 日	みぎわ園	ボイラー3号機入れ替え
令和5年 3 月 25 日	居宅支援	公用車 ホンダNBOX (ムーブ廃車)

(3) 規定等の整備

月 日	部 署 等	内 容
令和4年 4 月 1 日	法人	就業規則(育児介護休業、ハラスメント) 改正
令和4年 4 月 1 日	法人	給与規程(育児手当、賞与掛け率) 改正
令和4年 4 月 1 日	法人	ハラスメント防止対策に関する基本方針 策定
令和4年 4 月 1 日	法人	公用車管理規程 改正
令和4年 4 月 1 日	法人	公用車使用マニュアル 改正
令和4年 10 月 1 日	法人	給与規程(宿直手当、ベースアップ支援手当) 改正

(4) 機関紙等

みぎわ会だより	4回発刊	第346号～第349号
職員通信	4回発刊	第149号～第152号

(5) 主な行事等

月 日	行 事	備 考
令和4年 4 月 4～10 日	お花見	各施設、事業所で
令和4年 5・6 月 日	野外食	中止
令和4年 5 月 26 日	開園記念日	みぎわ園(53年)
令和4年 7 月 日	七夕会	中止
令和4年 8 月 8・21 日	夏まつり	規模縮小 各施設、各フロアにて実施
令和4年 9 月 1 日	防災食事訓練	中止
令和4年 9 月 14・19 日	敬老長寿の会	規模縮小 各施設、各フロアにて実施
令和4年 10 月 12・23・24 日	運動会	各施設、各フロアにて実施
令和4年 10 月 日	(地域の)秋祭	中止
令和4年 11 月 2・4・13 日	文化祭	規模縮小 各施設 作品展
令和4年 11 月 日	家族会	中止
令和4年 12 月 6・18・25 日	クリスマス会	各施設、各フロアにて実施
令和4年 12 月 23 日	燭火礼拝	オンラインで各施設配信
令和4年 12 月 日	お餅つき	中止
令和5年 1 月 日	新年祝賀、初詣	中止
令和5年 1 月 17 日	防災食事訓練	備蓄食材の提供
令和5年 2 月 日	節分祭	中止
令和5年 3 月 日	ひなまつり	中止

(6) 防災訓練

月 日	部 署 等	訓 練 内 容 他
令和 4年 5 月 9 日	いずみ寮	避難訓練 (日中 1F談話室喫煙所より出火)
令和 4年 5 月 10 日	ハンナ館	防火避難訓練 (夜間 2F居室から出火想定)
令和 4年 5 月 24 日	みぎわ会	夜間緊急連絡訓練 (全職員) (みぎわ園 1F談話室から出火)
令和 4年 7 月 4 日	みぎわ園	避難訓練、消防署通報訓練 (夜間 2F談話室から出火)
令和 4年 9 月 7 日	いずみ寮	水害避難訓練 (日中 水害の動画視聴と避難訓練)
令和 4年 10 月 14 日	いずみ寮	防火避難訓練、防犯訓練 (夜間 1階洗濯室より出火)
令和 4年 10 月 11 日	ハンナ館	防火避難訓練 (日中 3F居室より出火想定)
令和 4年 11 月 7 日	みぎわ園	防火避難訓練 (夜間 3F講堂から出火)
令和 5年 1 月 17 日	ナオミ館	防火避難訓練・消火・防犯訓練 (日中 ホールから出火)

(7) 地域公益活動

① ボランティアや福祉人材の育成
② 介護相談窓口の設置
③ ヨガ教室の地域開放⇒新型コロナウイルス感染予防のため中止
④ 介護保険事業における社会福祉法人による低所得者への利用者負担軽減
⑤ 災害時の福祉避難所開設
⑥ 認知症カフェ(みぎわカフェ「オアシス」)の実施⇒新型コロナウイルス感染予防のため中止
⑦ 生活困窮者等への就労支援(体験)⇒新型コロナウイルス感染予防のため中止

2.役員会他

(1)理事会・評議員会等開催状況

令和 4 年 5 月 24 日	監事監査	令和3年度 業務・会計
令和 4 年 6 月 2 日	第1回 理事会	令和3年度 最終補正予算 令和3年度 事業報告 令和3年度 経理区分決算報告 令和3年度 監事監査報告 次回評議員会の開催と議題
令和 4 年 6 月 18 日	第1回 評議員会	令和3年度 事業報告 令和3年度 各経理区分決算報告 令和3年度 監事監査報告
令和 4 年 9 月 24 日	第2回 理事会	みぎわ園個室化工事 給与規程の一部改正
令和 4 年 12 月 17 日	第3回 理事会	令和4年度補正予算 給与規程の一部改正
令和 5 年 1 月 14 日	第2回 評議員会 新型コロナ拡大のため中止 (書面にて報告)	各事業の現況と中間報告 補正予算および予算執行報告
令和 5 年 3 月 25 日	第4回 理事会	令和4年度 補正予算 令和5年度 事業計画 令和5年度 予算 第三者委員の選任 管理部人事 次回評議員会の開催と議題

(2)経営会議開催状況 (理事長・管理部)

令和 4 年 4 月 22 日	中止	
令和 4 年 5 月 21 日	中止	
令和 4 年 6 月 18 日	第1回	今後の予定、管理部研修、人事関係、事業計画進捗状況 新型コロナウイルス対応
令和 4 年 7 月 22 日	第2回	今後の予定、管理部研修、人事関係、事業計画進捗状況 新型コロナウイルス対応、Wワーク
令和 4 年 8 月 19 日	第3回	今後の予定、管理部研修、人事関係、事業計画進捗状況 新型コロナウイルス対応、賞与の見直し、宿直手当
令和 4 年 9 月 22 日	第4回	今後の予定、管理部研修、人事関係、事業計画進捗状況、自販機の設置 第2回理事会、賞与の見直し、いずみ寮とハンナ館の手当、芳田ふれあいフェスタ
令和 4 年 10 月 21 日	第5回	今後の予定、管理部研修、人事関係、事業計画進捗状況、オンライン研修システム 新型コロナウイルス対応、賞与の見直し、いずみ寮とハンナ館の手当
令和 4 年 11 月 22 日	第6回	今後の予定、管理部研修、人事関係、事業計画進捗状況、新研修システム 新型コロナウイルス対応、時間外手当と深夜割増手当、冬期賞与評価
令和 4 年 12 月 22 日	第7回	今後の予定、管理部研修、人事関係、事業計画進捗状況 新型コロナウイルス対応、みぎわ会の大切にしていること、来年度人事
令和 5 年 1 月 20 日	第8回	今後の予定、管理部研修、人事関係、事業計画進捗状況、調整手当 新型コロナウイルス対応、みぎわ会の大切にしていること、来年度人事
令和 5 年 2 月 24 日	第9回	今後の予定、管理部研修、人事関係、事業計画進捗状況 新型コロナウイルス対応、研修計画、永年勤続表彰、おむつ処分方法
令和 5 年 3 月 20 日	第10回	今後の予定、管理部研修、人事関係、事業計画進捗状況 新型コロナウイルス対応、第4回理事会

3. 職員関係

(1) 研修

(A) 法人内研修

① 新任職員研修

内 容 : 法人新任職員研修要綱に沿った講義・実技演習他
期 間 : 講義、座学は入職直後にパソコンで視聴 4月から随時
対 象 : 令和4年度新規採用者及び令和4年度中途採用者
目 的 : 今年度から教育担当者を配置、個々にあった研修内容を実施する
講 師 : みぎわ園 教育担当者

② 給食職員研修

内 容 : 厨房内の衛生管理について
期 間 : 令和4年10月25日 午後13時半～2時半
対 象 : 管理栄養士、給食部職員、管理部
目 的 : 厨房内の衛生管理と、ソフト食について
講 師 : 株式会社 ヘルシーフード近畿エリア代理店営業 伊藤 孝謙 氏

③ 介護実技研修

内 容 : ボディメカニクスとポジショニング
期 間 : 令和4年9月18日～令和4年11月27日
対 象 : みぎわ園中堅以上の介護職員 11名
目 的 : 正しいポジショニング技術習得することでご利用者の身体機能の低下予防に繋げる
講 師 : みぎわ園機能訓練員

④ 専門職員研修

内 容 : 食事にまつわる知識をつけよう
期 間 : 令和4年11月27日
対 象 : みぎわ園 介護職員1名
目 的 : 専門職として、他の職員への発信や指導方法を身につける
講 師 : みぎわ園 教育担当者

⑤身体拘束廃止に関する研修

内 容 : 身体拘束に関するアンケート(1回目) ビデオ視聴(2回目)

期 間 : 令和4年9月(1回目) 令和5年3月(2回目)

対 象 : 法人全職員

目 的 : 身体拘束廃止に向けての周知と見直し

教 材 : 1回目 「自分自身が身体拘束をされる立場になったら」
介護施設の身体拘束廃止に向けた取り組みへの資料配布とアンケート実施
2回目 千葉県ホームページ「介護保険施設等における身体拘束廃止に向けた取り組みを進めるための資料配布とアンケート実施

⑥看取りケア研修

内 容 : 3本の動画を視聴し、その感想と看取りに関して学びたいことをアンケート回答

期 間 : 令和4年12月

対 象 : 法人全職員

目 的 : 看取りの基本を学ぶ 職員の学びたい事柄を知る

教 材 : ①「看取りとは」 ②「看取り期の心身の変化(前半)」 ③「看取り期の心身の変化(後半)動画

⑦感染症対策に関する研修

内 容 : 感染症基本知識の資料配布とアンケート実施

期 間 : 令和5年3月

対 象 : 法人全職員

目 的 : 感染症に対する基本の再確認

教 材 : 感染対策委員会による作成資料

⑧事故防止に関する研修

内 容 : ヒヤリレポートの記入方法の見直し(1回目) 認知症のない方の誤嚥事故(2回目)

期 間 : 令和4年10月～11月(1回目) 令和5年2月(2回目)

対 象 : 法人全職員

目 的 : ヒヤリレポートの記入方法の見直しと誤嚥時の対応の再確認

教 材 : 事故防止委員会による作成したレポートと資料

(B) 法人外研修、出張等

月	日	研 修 名	場所・方法	所属	部署	人数
4	1	会計実務者研修(通信) 半年間	オンライン	みぎわ園	総務	1
5	13	西脇多可栄養士会役員会	市内	みぎわ園	相談	1
5	16	チームアプローチ実践研修	神戸市	みぎわ園	相談	1
5	19	認定調査員研修	オンライン	みぎわ園	相談	1
5	19	介護支援専門員西脇多可支部研修会	オンライン	居宅支援	居宅	4
5	25	介護支援専門員更新研修会	神戸市	居宅支援	居宅	1
5	26					1
6	20	介護支援専門員更新研修会	神戸市	居宅支援	居宅	1
6	21					1
7	10	介護支援専門員更新研修会	神戸市	居宅支援	居宅	1
7	11					1
8	29	介護支援専門員更新研修会	神戸市	居宅支援	居宅	1
8	30					1
9	21	介護支援専門員更新研修会	神戸市	居宅支援	居宅	1
5	26	加西市地域予防事業(フレイル予防)	加西市	みぎわ園	相談	1
6	9	加西市地域予防事業(フレイル予防)	加西市	みぎわ園	相談	1
11	24	加西市地域予防事業(フレイル予防)	加西市	みぎわ園	相談	1
12	8	加西市地域予防事業(フレイル予防)	加西市	みぎわ園	相談	1
5	28	芳田自治協議会総会	市内	居宅支援	居宅	1
6	10	福祉従事者新任職員研修(高齢者福祉)	オンライン	みぎわ園	介護	1
6	11	排泄技術研修	オンライン	みぎわ園	介護	2
6	21	西脇多可栄養士会総会	オンライン	みぎわ園	相談	1
7	7	認知症高齢者の食支援(野原幹司)	小野市	みぎわ園	介護	3
7	7	食品衛生講習会	市内	みぎわ園	給食	2
7	11	西脇市ケアプラン検討会	市内	居宅支援	居宅	1
7	21	口腔ケア～排泄ケアの新たな方法	オンライン	みぎわ園	介護	2
7	21	介護支援専門員西脇多可支部研修会	オンライン	居宅支援	居宅	4
7	27	BCP策定モデル施設事例報告	オンライン	み、い、ハ、居	管理	4
8	4	認定調査員研修	オンライン	みぎわ園	相談	1
8	4	東播磨地域包括・在介センター協議会記念講演会	オンライン	居宅支援	管理	1
8	18	西脇市医療・介護連携ソフト変更説明会	市内	居宅支援	管理	1
8	25	西脇市社福連絡協議会調理研修委員会	市内	みぎわ園	相談	1
8	24	応急手当普及員講習会	加西市	みぎわ園	管理、介護	2
8	25					2
8	26					2
8	26	高齢者福祉施設におけるコロナ対応研修会	オンライン	み、い、ハ、居	管理	4
8	31	眠りスキャン活用法	オンライン	みぎわ園	介護	2
9	14	芳田自治協議会福祉部会	市内	居宅支援	居宅	1
9	19	睡眠講演会	市内	居宅支援	居宅	1
9	20	管理職研修	オンライン	いずみ寮	管理	1
10	3					1
9	21	認知症ケアを見直そう(高口光子)	オンライン	みぎわ園	介護	3
9	22	介護ロボット導入支援研修基礎編	オンライン	みぎわ園	管理、介護、相談	5
9	27	認知症介護基礎研修	オンライン	みぎわ園	介護	1
10	4	安全運転管理者講習会	市内	ナオミ館	相談	1
10	7	アンガーマネジメント研修会	神戸市	居宅支援	居宅	1
10	7	芳田自治協議会福祉部会	市内	居宅支援	居宅	1
10	7	アンガーマネジメント研修会	オンライン	みぎわ園	介護、看護	3
10	7	認知症介護基礎研修	オンライン	みぎわ園	総務	1
10	8				介護	1
10	12	社会福祉法人におけるDX対応	大阪市	みぎわ園	管理	1
10	13	介護ロボット活用施設見学会	神戸市	みぎわ園	介護	2
10	18	ノーリフティング(下元佳子)	小野市	みぎわ園	介護	2
10	20	経営協10月例会	オンライン	みぎわ園	管理	1
10	21	はじめて福祉の仕事に就く人のための研修	オンライン	みぎわ園	介護	2
10	21	危険物取扱者保安講習	オンライン	みぎわ園	総務	1
10	25	篠山学園見学	丹波篠山市	みぎわ園	管理、総務、相談	3
10	26	介護支援専門員更新研修会	神戸市	居宅支援	居宅	1
10	27					1

月	日	研 修 名	場所・方法	所属	部署	人数
10	27	看取り介護研修会	オンライン	みぎわ園	介護、看護	3
11	6	芳田の里ふれあいフェスタ	市内	み、い、ハ、居	管理、居宅	9
11	8	篠山学園就職説明会	丹波篠山市	みぎわ園	管理、総務	3
11	12	感染管理研修会	オンライン	みぎわ園	介護、看護	2
11	13	施設入所退所時の事務手続対応研修	オンライン	みぎわ園	相談	1
11	14	あんしんはーとねっと事業報告会	オンライン	みぎわ園、居宅	管理、相談	2
11	14	介護支援専門員西脇多可支部研修会	オンライン	居宅支援	居宅	4
11	16	近畿女性施設長フォーラム	和歌山市	みぎわ園、ハンナ館	管理	2
11	18	軽費ケアハウス部会職員研修会	オンライン	いずみ寮、ハンナ館	管理	2
11	18	VR認知症体験	小野市	み、い、居	介護、相談、居宅	5
11	24	介護支援専門員更新研修(後期)	豊岡市	居宅支援	居宅	1
11	25	介護支援専門員更新研修(後期)	豊岡市	居宅支援	居宅	1
11	28	多可高校出前授業1、2年生	多可町	みぎわ園、居宅	総務、居宅	3
12	5	篠山学園面接会	丹波篠山市	みぎわ園	管理、総務	3
12	5	多可高校出前授業2年生	多可町	みぎわ園	総務、介護	5
12	14	医療的ケア教員講習会	神戸市	みぎわ園	看護	1
12	21	トライやるウィーク報告会	市内	みぎわ園	相談	1
1	17	介護支援専門員更新研修(後期)	豊岡市	居宅支援	居宅	1
1	18	介護支援専門員更新研修(後期)	豊岡市	居宅支援	居宅	1
1	23	施設長研修会	オンライン	みぎわ園	管理	1
1	28	多可高校出前授業1年生	多可町	みぎわ園	総務、介護	3
2	9	人材確保定着力向上研修	オンライン	みぎわ園	総務	1
2	10	栄養士・調理師研修	神戸市	みぎわ園	給食	1
2	14	西脇多可事例検討会	オンライン	居宅支援	居宅	1
2	16	施設ケアマネジメント研修	オンライン	みぎわ園	相談	1
2	17		オンライン	みぎわ園	相談	1
2	20	外国人採用支援フォーラム	オンライン	みぎわ園	総務	1
3	1	社会福祉法人研修会	神戸市	みぎわ園	管理	1
3	14	兵庫県集団指導	オンライン	み、い、ハ、居	管理、相談	13
3	16	介護現場の生産性向上フォーラム	オンライン	みぎわ園	管理	1
3	17	第2回東播磨ブロック老人福祉事業協会総会	加古川市	みぎわ園	管理	1
					延べ	169

○関連組織等法人外での役割

みぎわ園 施設長	東播磨ブロック老人福祉事業協会監事 西脇多可介護認定審査会委員
みぎわ園 副園長	西脇多可介護認定審査会委員
みぎわ園 介護部2階主任	県老協「サービス評価事業」委員
居宅介護支援事業所 主任	兵庫県介護支援専門員協会西脇多可支部事務局 芳田自治協議会福祉部会委員

(C)個別研修計画

・居宅介護支援事業所

職員	研修課題	方法/機会	評価/結果
A	個々のケースを客観的にみることができるよう、管理者としてのスキルを養う	気づきの事例検討会に参加する アセスメント力の向上を目的とした兵庫県協会の研修を受講する	気づきの事例検討会を通して、アセスメントの基本に戻り、ご利用者に対する面接技法を振り返る機会を得られた また、支援者支援の立場から、多面的にケースを捉えられるようスキルアップを目指したが、個々に捉え方が違う中で支援するには学びが足りなかった
B	意思決定を尊重し地域で望む生活ができる様、アセスメント・モニタリングの繰り返しの中で、ご利用者の強みがどこにあるのか、何ができないのか、社会資源にも目を向け業務にあたる	認知症や多職種連携の研修(困り事がないという認知症の方の対応・各機関との情報共有)地域資源の活用(金銭管理や制度)社会福祉協議会に問い合わせる	認知症バーチャル体験研修に参加、曖昧な言葉かけをしない様意識している 地域資源:宅配弁当の調整 支援に繋がらなかったが金銭管理の相談を行う
C	新しい様式に落とし込むことで効率化を図り、見立ての視野を広げる	個々のケースを丁寧に見直し、再アセスメントとプランの作成を見直す	介護ソフトを活用することで、個々のケースへの視点が変わり、新たな課題が見え、再アセスメントとプラン作成に生かすことができた
D	ご利用者を総合的に理解するため、自立支援に基づいたアセスメント力を身につける	ご利用者のQOL向上や、自立支援に結びつく外部研修に参加する	支部主催の定例会にて、「アセスメントを振り返り見えたもの」など2回の研修に参加し、改めて自分自身のケアプランにおける課題分析の重要性を考えるようになった

・ヘルパーステーション

職員	研修課題	方法/機会	評価/結果
A	日常生活の中で気軽に実践できるようなフレイル予防方法を学ぶ	①インターネットを利用してフレイル予防法を学ぶ ②座ってもできるなど危険のない方法をご利用者との会話の中で呼びかけていく	①身体面だけでなく社会的な面からも予防することが可能であることを学び、ヘルパー訪問が良い刺激になるよう支援と共に対話も大切にした ②対話の中で手足の簡単な運動を呼びかけ一緒にすることができた
B	自らの技術の向上を意識し、ご利用者の特性に応じた個別ケアや対応を学ぶ	①月刊誌を読む ②ご利用者の顔色、様子の細かい変化に気づき、記録報告する ③不測の事態が起こった時の対応方法を学ぶ	①時間を作って読めた 特にヘルパーが必要な医学的なことについて学ぶよう努めた ②訪問時に体調変化の有無を見て、傾聴も心掛けている ③インターネットで調べて学んだ
C	基本的な介護技術を身につける	①月刊誌を読む ②安全を優先する介護技術を学ぶ	①時間を作って読んだ 特に浴室内での移動、浴槽からの立ち上がりについて学んだ ②介護技術はもちろん大切だが、未然に防ぐための気づきも必要で、不安を感じたときはヘルパーで話し合い改善策を考えた
D	訪問介護の基本を学ぶ	①月刊誌を読む ②ご利用者の身体的、精神的な変化に気づき、記録報告する ③安心安全な介助方法を本から学び実践する	①月刊誌を読んだ ご家族やヘルパーと情報共有するための記録方法を学び、実践できた ②訪問時に体調等傾聴し、変化等あれば細かく記録するように心掛けた ③骨折後の足の可動域や福祉用具について学び、ヘルパーで共有、実践できた
E	事故再発防止のためにできる認知症ケアを学ぶ	①月刊誌を読む ②認知症のあるご利用者とのコミュニケーション方法を学ぶ ③移乗中の事故や食事、服薬の誤嚥予防について学ぶ	①移動中の事故防止のために、見守る位置、さりげないサポートの方法などを学び、実行できた ②ご利用者のお話を傾聴し、身体的・精神的な変化の有無を感じながら、コミュニケーションがとれた ③本で読むだけで実践することはなかったが、在宅ケアは一人で支援するため難しさを改めて感じた

(2) 入退職の状況

		正規職員		嘱託職員		非常勤職員		合計	
		入職数	退職数	入職数	退職数	入職数	退職数	入職数	退職数
みぎわ園	3年度	4	4	5	5	4	4	13	13
	4年度	9	3	1	2	4	6	14	11
いずみ寮	3年度						1	0	1
	4年度				1			0	1
ハンナ館	3年度		1					0	1
	4年度							0	0
ナオミ館	3年度			2	1	5	4	7	5
	4年度		2			1		1	2
居宅支援 事業所	3年度						1	0	1
	4年度				1			0	1
ヘルパー ステーション	3年度							0	0
	4年度		1				1	0	2
まりあ 保育園	3年度					1	3	1	3
	4年度							0	0
合計	3年度	4	5	7	6	10	13	21	24
	4年度	9	6	1	4	5	7	15	17

(3) 実習、研修受入

日 程	学 校 等	人 数
令和4年 8 月 1～5 日	インターンシップ（小野工業高等学校）	1名
令和4年 8 月 22～24 日	介護体験（多可高等学校）	2名
令和4年 11 月 7～11 日	トライやるウィーク（西脇南中学校）	5名
令和4年 12 月 26～28 日	介護職員初任者研修（多可高等学校）	4名
令和4年 7月から12月まで	教育免許法の特例に基づく「介護体験」	コロナの為中止
令和4年 年間0回	就労準備支援事業（西脇市・加西市・加東市）	コロナの為中止

※ 例年開催していた月を記載しています

(4)有資格者の状況

資 格	受験、受講による 取得者数		採用による 取得者数		退職者数		有資格者数	
	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	4年 4月	5年 4月
社会福祉士							8	8
介護福祉士	5	1	5	4	7	7	74	72
介護支援専門員			1	1	2	3	18	16
主任介護支援専門員							2	2
社会福祉主事			1		2	2	21	19
理学・作業療法士							2	2
正看護師			1	2		2	10	10
准看護師			1		1		5	5
管理栄養士			1	1	1		1	2
栄養士				1		1	6	6
調理師			1	1	4		17	17
防火管理者							27	27
衛生管理者							7	7
危険物取扱者					1	1	6	5
ボイラー技士							1	1
大型自動車免許			1		1	1	6	5
保育士						1	9	7
介護実務者(旧ヘルパー1級)		1		1			4	14
介護初任者(旧ヘルパー2級)	1		7	2	4	5	36	34
喀痰吸引介護実践者		4			4	4	40	41
喀痰吸引指導看護師		1					4	3
認知症介護実践研修者	2						10	11
認知症介護基礎研修者	4						4	8
合計	12	7	19	13	27	27	318	322

(5) 福利厚生

日 程				内 容
令和4年	4 月	8 日		職員互助会総会
令和4年	4 月	12 日		兵庫県老人福祉事業協会 永年勤続表彰推薦 3名
令和4年	4 月	21 日		兵庫県 知事表彰推薦 1名
令和4年	4 月	26 日		勤続40年表彰(褒章休暇20日、副賞20万円) 1名
令和4年	4 月	26 日		勤続30年表彰(褒章休暇10日、副賞10万円) 3名
令和4年	4 月	26 日	日	勤続20年表彰(褒章休暇5日、副賞5万円) 1名
令和4年	4 月	26 日	日	勤続10年表彰(褒章休暇1日、副賞3万円、記念品) 3名
令和4年	4 月	26 日		勤続5年表彰(副賞1万円) 4名
令和4年	5 月	27 日		みぎわ園開園記念(53年) お寿司
令和4年	6 月	9.16 日		特定健康診断
令和4年	6 月	28.29.30 日		コロナワクチン接種4回目(65歳以上)
令和4年	7 月	20 日		みぎわ園コロナ感染対応慰労金支給(1回目)
令和4年	8 月	4.12 日	月	介護職員腰痛検査
令和4年	8 月	8.11 日		コロナワクチン接種4回目(65歳未満)
令和4年	10 月	26 日		インフルエンザ予防接種
令和4年	11 月	14.19.25 日		コロナワクチン接種5回目(オミクロン株対応)
令和4年	12 月	7.8 日		定期健康診断
令和5年	3 月	2.9 日		介護職員腰痛検査
令和5年	3 月	10 日		全職員プレゼント(ごはんのお供セット)
令和5年	3 月	20 日		みぎわ園コロナ感染対応慰労金支給(2回目)
新任職員歓迎				11月28日～3月14日 紹介インタビュー動画撮影(15名)
毎月25日				誕生プレゼント(管理部からのメッセージカード、お菓子の詰め合せ)
毎週水曜日 他随時				職員相談室
その他				兵庫県民間社会福祉事業職員互助会加入(90名 4月1日時点)

4. 委員会の目標と評価

(1) 防火対策委員会の目標と評価

(委員会の目的・内容)

防火、防災に係る基本方針と重要事項の審議、決定を行い、利用者並びに職員の安全確保と災害に対する備えを実行する

(委員構成)

園長、事務長、副園長、寮長、館長、所長、各部主任、防火管理者

(目 標)	職員の防火・防災意識の向上と、利用者の安全確保
(実行計画)	より多くの職員が防火・防災意識を高められるよう訓練を重ねる
(数値目標)	年間計画に沿った、訓練を確実に実施する
(達成率)	90%
(評 価)	訓練は小規模でありましたが、年間計画通りにできた より多くの職員が訓練に参加し、防火に対する意識向上にも繋がった

(委員会の開催) 月例で12回(aipo使用)

(活動特記)

- ・法定の消防設備点検は、業者により全施設年2回実施
- ・防火管理者講習2名受講(防火管理者資格取得)は新型コロナの関係で中止

(2) 給食委員会の目標と評価

(委員会の目的・内容)

給食関係に係る方針、計画等全般、献立、特別食、行事食等の打ち合わせ等

(委員構成)

園長、事務長、副園長、寮長、館長、所長、各部主任

(目 標)	安全で安心できる食事提供を検討する
(実行計画)	各部署、各施設での情報を共有し、食事提供を工夫する
(数値目標)	毎月実施
(達成率)	90%
(評 価)	食事係との話し合いの時間を作り、現場との意見交換ができた その結果を元に、食材の提供方法を変更するなど、安全に食して頂けるように工夫できたと思う

(委員会の開催) 月例で12回(aipo使用)

(活動特記)

利用者の情報を各部署、各施設で共有できた

(3) 入所計画委員会の目標と評価

(委員会の目的・内容)

みぎわ園の入園者決定、申込者の評価、調整及びマニュアルの整備、見直し、いずみ寮・ハンナ館申込者の確認等

(委員構成)

嘱託医、園長、事務長、副園長、寮長、館長、所長、各部責任者、他

(目 標)	申込者の適切な入所判定を行い、空床期間を短縮する
(実行計画)	申込待機者の状況を把握し、長期又は短期で受入調整を行う
(数値目標)	ベッド利用率を長期96%、短期85%以上とする
(達成率)	40%
(評 価)	長期94.34%、短期73.21%、全体92.23% 令和4年度は4～5月と1～3月にかけて新型コロナウイルス感染症クラスターが発生 感染対応中は入所受入が中止となり、長期・短期とも大きな影響がでた 短期入所は他施設へ移行されたケースもあり、収束後すぐに改善する事は難しかった

(委員会の開催)

新型コロナウイルスによる密を避けるため、aipoで毎月12回開催

(活動特記)

- ・3月末付で待機者は215名 前年同期と変化なし
- ・入所申込みの月平均受付件数 7.6名で昨年度より0.1名増加
- ・月平均の入所者数 3.25名で昨年度より0.15名増加
(昨年度退園者37⇒今年度退園者39名)

(4) 感染症対策委員会の目標と評価

(委員会の目的・内容)

施設内における感染症予防の対策、研究及び指針、マニュアルの整備、見直し、発生時の対応等

(委員構成)

産業医、園長、事務長、副園長、寮長、館長、所長、各部主任

(目 標)	感染予防を常に意識し、感染拡大防止に努める
(実行計画)	①標準予防策徹底と評価 ②感染症の情報共有 ③感染症に関する訓練実施に向けて計画する ④感染、医療的ケアに関する研修実施
(数値目標)	①委員会内での周知及び確認 ②毎月感染情報を共有する ③感染症に関する訓練実施に向けて検討する ④年1回全職員対象に感染に関する研修会実施と喀痰吸引実技研修実施
(達成率)	50%
(評 価)	①②感染情報及びみぎわ園におけるコロナウイルス感染症の情報の共有と感染対策への取り組みは行えた ③訓練に向けての検討はおこなえなかった ④コロナウイルス感染拡大により感染症及び食中毒の研修会実施しかなかった

(委員会の開催) 年間7回(aipo、Zoom)

(活動特記) 新型コロナウイルス感染症ほか各感染症の情報の共有
スタンダードプリコーションの徹底

(5) 事故防止委員会の目標と評価

(委員会の目的・内容)

施設内における利用者に関する事故事例(インシデント含む)の収集後の分析、事故防止に向けた取り組みに関する提言のとりまとめ、及び指針、マニュアルの整備、見直し等

(委員構成)

副園長、各部代表者

(目 標)	再発防止策の検討
(実行計画)	ヒヤリハットレポートを確認し委員会内で意見交換を行う
(数値目標)	年2回の職場内研修 ヒヤリハット報告書の様式変更
(達成率)	80%
(評 価)	職員研修は年2回終了している aipoによる意見交換は参加率が悪く、一部の委員のみで実施していた ヒヤリハットの様式変更は少しずつ進み、来年度から実施予定

(委員会の開催) 月例で12回(aipo使用)

(活動特記) ・「事故報告書」 29件
・「ヒヤリハットレポート①」 268件
・「ヒヤリハットレポート②」 107件

(6) 苦情解決委員会の目標と評価

(委員会の目的・内容)

施設内における苦情、意見等の対応、再発防止に向けた取り組みに関する提言のとりまとめ及びマニュアルの整備見直し等

(委員構成)

総務部、相談部、介護部、ヘルパー、いずみ寮、各代表者

(目 標)	苦情と気づきへの意識向上に取り組む
(実行計画)	aipoでできた意見の周知に努める
(数値目標)	毎月実施し評価を行う
(達成率)	80%
(評 価)	aipoでの委員会も慣れて意見を沢山出してもらった事が出来た 毎月の評価が不足していたが、出た意見の周知については努めていたと思う

(委員会の開催) 月例で12回(aipo使用)

(活動特記) ・「苦情報告書」 4件
・「気づきレポート」 14件

(7) 身体拘束廃止委員会の目標と評価

(委員会の目的・内容)

身体拘束廃止に向けた取り組み、研究に関する提言の取りまとめ及び指針、マニュアルの整備、見直し等

(委員構成)

副園長、各部代表者

(目 標)	身体拘束廃止を目標に件数減少に努める
(実行計画)	毎月経過観察の検討、また身体拘束の廃止にむけた検討をおこなう
(数値目標)	センサーベッド・眠りスキャンの活用と年2回の研修
(達成率)	100%
(評 価)	前年度同様に今年度もコロナウイルス感染症により、一度も対面での会議が開催されなかった かわりとしてaipoによる会議を毎月行っているが、意見交換などが積極的に出来なかった 年2回の研修や毎月の委員会開催などはきちんと出来たこと、センサーベッドや眠りスキャンなどの機器を活用し、身体拘束の件数を減らすことができたのは評価できる 今後も拘束廃止に向けて検討を行っていく

(委員会の開催) 月例で12回(aipo使用)

(活動特記)

- ・身体拘束の現状として「車いす安全ベルト使用」2件 (短期1件)
- ・「ベッド柵(4点)使用」5件 (短期0件)
- ・「つなぎ服着用」3件 (短期1件) ・ミトン0件

(8) 第三者委員会の目標と評価

(委員会の目的・内容)

第三者委員からの意見聴取、施設内における苦情、意見等の報告、再発防止に向けた取り組みの報告、検討

(委員構成)

第三者委員、理事長、園長、事務長、副園長、寮長、館長、所長、各部代表者

(目 標)	第三者委員と情報を共有し、法人内の状況を理解していただく
(実行計画)	法人内における苦情や相談を定期的に第三者委員に報告する
(数値目標)	年3回 (6、10、2月)に委員会を開催する
(達成率)	100%
(評 価)	6月、10月は対面で実施し2月はaipoでの開催であった 例年に比べると苦情、気づきの件数は少なく、第三者委員と情報を共有し貴重なアドバイスをいただき今後に繋げていきたいと思う

(委員会の開催) 年3回

(活動特記)

第三者委員より意見、アドバイスを頂き、全体で課題についての取り組みや、対応策などを認識した

(9) サービス向上委員会の目標と評価

(委員会の目的・内容)

職員、ご利用者、ご家族、第三者からの情報収集、分析、検討を行い、サービスの自己評価、サービス向上に関する活動の提言、実施

(委員構成)

総務部、相談部、介護部、看護部、給食部、いずみ寮、ハンナ館、ヘルパー部、居宅部各代表

(目 標)	ゆとりをもってサービス提供できる環境を作り、利用者へのサービスアップにつなげる
(実行計画)	前年度の職員アンケートから具体的に実施しやすい取り組みを上げる
(数値目標)	一つの取り組みを実施 aipoを使用し月一回の呼びかけを行う
(達成率)	50%
(評 価)	前回アンケートからの取り組みを呼びかけることはできなかった 「現場からの声」でご家族から感謝の言葉をいただき、それを全職員に周知している コロナ禍で業務に追われる中でもご家族の言葉には励まされた どれも日常的に行っている職員の言動についてのことであり評価できるのではないかと 委員会はaipoで実施 各自意見を出し合うことができた

(委員会の開催)

・年間5回(aipo使用)

(活動特記)

- ・現場からの声(4件)
- ・職員アンケート 実施できず来年度への課題とする

(10) 広報活動委員会の目標と評価

(委員会の目的・内容)

季刊広報誌「みぎわ会だより」及び「事業報告書」の編集、発行、その他広報に関する検討、提言等

(委員構成)

事務長、編集委員

(目 標)	HP配信とたよりの発行との両建てから、広い世代に向けて求めらえる情報を発信していく
(実行計画)	HPを適宜更新していき、みぎわ会の新しい情報を配信 みぎわ会だよりの確実な発行
(数値目標)	HPは 1回/月以上更新 たよりは年4回発行、新しい企画を1つ以上取り入れる
(達成率)	70%
(評 価)	HPについては、概ね月1回以上の頻度で行事やお知らせ等を更新している 2月以降コロナの影響で行事等が開催できず更新ができない月もあった みぎわ会だよりについては、年4回の発行を滞りなく終えている 毎号企画に悩むところではあるが、シリーズ化した企画ものを増やすより発行時期に合わせた情報やお知らせ等を優先した 結果的にはその方が充実した誌面作りとなつて感じた

(委員会の開催) 月例で12回と「事業報告書」編集で1回、計13回

(活動特記)

- ・「事業報告書」を作成、関係機関等に配布
- ・「みぎわ会だより」は季刊約800部作成、うち780程配布、郵送

(11) 安全衛生委員会の目標と評価

(委員会の目的・内容)

法人職員の労働衛生管理に関する事の協議による改善を実行し、職員の安全衛生に努める

(委員構成)

産業医、園長、事務長、副園長、寮長、館長、所長、各部主任

(目 標)	安全で働きやすい職場環境作りを行う
(実行計画)	確実な定期巡視、各部署や個別の提起[4S(整理・整頓・清潔・清掃)・KY(危険予知)、メンタルヘルス]に応える
(数値目標)	労働災害「0」
(達成率)	70%
(評 価)	定期巡視も工夫して行うことができた 各部署、個別の提起にも応えることができた 労災が2件あった 今後の課題である

(委員会の開催) 月例で10回(aipo使用)

(活動特記)

- ・労働災害は「2件」であった
- ・職員の4S、KY、メンタルヘルスに関する提起が多くあり、4Sは意識できている
- ・衛生管理者、安全衛生推進者による、定期巡視は工夫して行えた

(12) 研修委員会の目標と評価

(委員会の目的・内容)

全体研修のプログラムの検討、施設内研修・施設外研修他職員の研修に関する検討、提言等

(委員構成)

副園長、各部署代表、研修アドバイザー

(目 標)	コロナ禍での「施設内研修」実行方法の検討と計画を行い、職員育成の場を提供する
(実行計画)	必須研修のサポートと全職員対象または各事業所・各部署のニーズに沿った研修構築
(数値目標)	施設内研修の構築と実行
(達成率)	55%
(評 価)	委員会全員での活動は滞っているが、その役割が濃い委員で進めてこれている 年度内で必須の施設内研修は辛うじて実施は出来た しかし実施内容については、コロナ禍ではかなり難しいものであった また委員会の協力はほぼなかった 施設全体研修については要検討である

(委員会の開催) 2回

(活動特記)

- ・施設内外の通例の研修の中止

(13) 看取り介護委員会の目標と評価

(委員会の目的・内容)

利用者の看取り介護に関する学習と実践、職員への啓蒙等

(委員構成)

副園長、看護部、相談員、各階介護部、給食部、研修アドバイザー、牧師

(目 標)	みぎわ園における看取りケアについて検討し、実践する
(実行計画)	私の気持ちシートの活用と、個別性を活かした寄り添いケアを行う
(数値目標)	ご利用者・ご家族の思いに沿った看取りケアの実践について毎月情報交換行う
(達成率)	80%
(評 価)	aipoでの開催であったが、毎月情報交換を行い、各部署がご利用者、ご家族の思いに寄り添ったケアができていた。ここ数年、課題に挙がりつつも十分に取組めなかった。私の気持ちシートについて、各階が真摯にシートの作成に取り組み、実際に個別性を活かしたケアに繋げることができた。

(委員会の開催)

月例で12回(aipo使用)

(活動特記)

私の気持ちシートについて、全ご利用者を対象とし、シート作成に取り組めた。作成して終わりではなく、実際にケアに繋がることも増えてきている。アンケートを実施し、職員が学びたいと思っていることを知ることができた。結果をもとに、来年度の委員会で学び、他の職員にフィードバックしていく。

- ※ 新型コロナウイルスにより、オンラインによる開催が主流となる
- ※ 情報共有ソフト、グループウェア【aipo】を使用
一つの画面でチャット会議、掲示板報告等が行える

特別養護老人ホーム

みぎわ園



4月 お花見



4月 戸外散歩



4月 新任職員研修



6月 ご利用者健康診断



8月 夏祭り



9月 敬老長寿のお祝い



10月 運動会



11月 文化祭作品作り



12月 燭火礼拝(オンライン)



1月 お正月

1 .利用状況

		長期（135床）					短期（15床）			全体（150床）	
月	日数	延利用者数 (人)	延入院数 (人)	合計利用数 (人)	平均利用数 (人)	長期稼働率 (%)	延利用数 (人)	平均利用数 (人)	短期稼働率 (%)	平均利用数 (人)	全体稼働率 (%)
4月	30	3,908	39	3,869	128.97	95.53	311	10.37	69.11	139.33	92.89
5月	31	4,036	74	3,962	127.81	94.67	200	6.45	43.01	134.26	89.51
6月	30	3,900	127	3,773	125.77	93.16	326	10.87	72.44	136.63	91.09
7月	31	4,121	134	3,987	128.61	95.27	357	11.52	76.77	140.13	93.42
8月	31	4,089	110	3,979	128.35	95.08	376	12.13	80.86	140.48	93.66
9月	30	4,042	134	3,908	130.27	96.49	372	12.40	82.67	142.67	95.11
10月	31	4,135	114	4,021	129.71	96.08	324	10.45	69.68	140.16	93.44
11月	30	3,890	70	3,820	127.33	94.32	370	12.33	82.22	139.67	93.11
12月	31	4,045	69	3,976	128.26	95.01	362	11.68	77.85	139.94	93.29
1月	31	4,008	58	3,950	127.42	94.38	420	13.55	90.32	140.97	93.98
2月	28	3,572	121	3,451	123.25	91.30	255	9.11	60.71	132.36	88.24
3月	31	3,953	162	3,791	122.29	90.59	335	10.81	72.04	133.10	88.73
計or平均	365	47,699	1,212	46,487	127.36	94.34	4,008	10.98	73.21	138.34	92.23
前年度 計or平均	365	48,352	1,503	46,849	128.35	95.08	4,654	12.75	85.00	141.09	94.06

		利用者		入退所(人)			申込者(人)			短期(人)	職員(人)
月	日数	平均介護度	平均在園期間	入所人数	退所人数	1日付現員	新規申込数	申込取下数	1日付待機数	新規利用数	1日付待機数
4月	30	3.80	3.71	2	1	129	11	2	215	2	99.57
5月	31	3.80	3.74	3	2	130	8	1	222	0	101.37
6月	30	3.82	3.76	4	3	130	5	2	226	4	100.04
7月	31	3.81	3.78	5	3	131	2	2	225	3	99.78
8月	31	3.80	3.71	4	4	133	8	0	220	3	99.68
9月	30	3.79	3.72	3	1	133	9	0	224	6	103.68
10月	31	3.79	3.71	2	7	135	7	1	230	5	103.43
11月	30	3.83	3.82	3	3	130	5	2	234	4	103.43
12月	31	3.81	3.81	3	4	130	11	0	234	1	104.43
1月	31	3.77	3.86	2	2	129	5	32	242	2	102.78
2月	28	3.81	3.86	0	4	129	9	9	213	0	101.41
3月	31	3.81	3.93	8	5	125	11	1	213	10	101.41
計or平均	365	3.80	3.78	39	39	130.33	91	52	224.83	40	101.75
前年度 計or平均	365	3.78	3.73	37	39	132.83	90	67	235	33	95.25

2. 行事、療法、ボランティア等

(1) 行事

(A) 主な行事

月 日	行 事	場所・行き先	参加人数	ボラ・家族	昨年度 参加人数	昨年度 ボラ・家族
4 月 1 日 ~	お花見	みぎわ園敷地内	16	0	5	0
4 月 日	お花見まつり	デイルーム	中止	0	中止	0
5 月 日	西脇高校家庭クラブ交流会	デイルーム	中止	0	中止	0
6 月 日	野外イベント	中庭	中止	0	中止	0
7 月 日	七夕まつり	デイルーム	中止	0	中止	0
8 月 日	夏祭り	各フロア	51	0	123	0
9 月 日	西脇工業高校吹奏楽部演奏会	デイルーム	中止	0	中止	0
9 月 日	長寿の祝会	講堂	中止	0	中止	0
10 月 日	運動会	各フロア	115	0	96	0
10 月 日	平野町子供神輿	中庭	中止	0	中止	0
11 月 1~7 日	文化祭(イベント)	各フロア	126	0	148	0
11 月 日	文化祭(お茶会)	講堂	中止	0	中止	0
11 月 日	家族会(交流会)	講堂	中止	0	中止	0
12 月 日	西脇高校家庭クラブ交流会	デイルーム	中止	0	中止	0
12 月 日	芳田こども園交流会	デイルーム	中止	0	中止	0
12 月 23 日	燭火礼拝(オンラインで実施)	各フロア	25	0	37	0
12 月 日	もちつき会	デイルーム	中止	0	中止	0
2 月 日	節分祭	各フロア	中止	0	10	0
3 月 日	ひな祭り・西脇高校家庭クラブ交流会	デイルーム	中止	0	中止	0

(B) 月例等行事

回 数	行 事	参加人数	家族	前年度 参加人数	前年度 家族
毎月 1 回	誕生会	0	0	74	0
毎月 1 回	自治会	0	0	0	0
毎月 1 回	記念会	0	0	0	0
毎週 1 回	聖日礼拝(オンライン)	1054	0	1257	0

(2) 療法活動

	実施回数	平均参加人数	前年度 実施回数	前年度 平均参加人数
音楽療法	月 0 回	0 名	月 0 回	0 名

※ 今年度は新型コロナウイルスの為、中止

(3) 歯科衛生士による口腔ケア

実施月	実施人数	昨年度 実施人数	実施月	実施人数	昨年度 実施人数
4 月	119	コロナの為中止	10 月	127	116
5 月	コロナの為中止	コロナの為中止	11 月	123	115
6 月	119	50	12 月	130	118
7 月	124	110	1 月	40	ノロウイルスの為
8 月	91	59	2 月	コロナの為中止	コロナの為中止
9 月	131	コロナの為中止	3 月	123	78

※利用者1名に対し月2回実施する

※月1回の実施は人数加算はしていない

※歯科衛生士は週2回2~3名訪問、一回に利用者約30名~50名をケアする(トータル月6日間)

(4)レクリハ活動

- ・ 書道教室（ラッシャペン・筆ペン・毛筆）
- ・ カレンダー色塗り
- ・ 体操（手足の運動・口腔体操・発声練習）
- ・ 歌（童謡・懐メロ）
- ・ DVD観賞・朗読・紙芝居など
- ・ 歩行練習（四輪歩行車・手を引く）
- ・ 車いすの自乗練習
- ・ タオルたたみ（毎日、10名ほど）
- ・ 園芸活動
- ・ 手芸活動
- ・ 戸外散歩（気候の良い時期に15日間、平均7名参加）
- ・ セタ飾り作り（6月～7月に10日間、平均10名参加）

(5)ボランティア

	回 数	延べ人数	前年度 延べ人数
老人会	月 1 回	中止	中止
天理教	月 1 回	中止	中止
立正佼成会	月 1 回	中止	中止
美容師	月 3 回	29	39
マッサージ	年 1 回	中止	中止
繕い物	週 2 回	中止	中止

(6)売店

	年間延べ利用者	前年度 年間延べ利用者	営業日	前年度 営業日
みぎわ園利用者	99 人	67 人	0 日	0 日
時 間	随時注文			

(7)ラウンジ

	年間延べ利用者	前年度 年間延べ利用者	営業日	前年度 営業日
みぎわ園利用者	0 人	0 人	年 0 日間	年 0 日間
時 間	午後1時30分～3時00分			

※ 今年度は新型コロナウイルスの為、中止

3.各部の目標と評価

(1)総務部の目標と評価

(職員構成)

主任、事務員、運転員、清掃職員、洗濯員

(目標)	ミーティングの充実と情報共有に努める
(実行計画)	ミーティングにて意見交換を行う
(数値目標)	毎月実施
(達成率)	70%
(評価)	感染症の為aipoでのミーティングが増えたため、活発な意見交換の場にする事が出来なかったが、個々の業務を改めて報告する事で相互理解は深まった

(ミーティングの開催) 月例で12回 (aipo含む)

(2)相談部の目標と評価

(職員構成)

主任、副主任、相談員、管理栄養士、機能訓練指導員

(目標)	ご利用者、ご家族の事を思い、益(役に立つ)となる
(実行計画)	基本理念である『奉仕と隣人愛』・職員憲章を拠り所として、判断し、行動する
(数値目標)	ご利用者の「その方らしさ」を活かせる、アセスメント、プラン作成を行う
(達成率)	70%
(評価)	ご利用者のお役に立てるよう、課題を抽出し、改善への働きかけに繋がらなかったが、至らなかった しかし、職員個々に、ご利用者、ご家族の立場に立ち、考え、行動する事ができた 基本理念、職員憲章に立ち返る、読み返す、意識する事ができた

(ミーティングの開催) 新型コロナウイルス感染症対策により密を避け、パソコン(aipo)上で月例12回開催

(3)介護部1階の目標と評価

(職員構成)

主任、副主任、介護職員

(目標)	ご利用者の満足度100%を目指す
(実行計画)	毎月フロアミーティングを実施、スタッフのスキルや知識の向上
(数値目標)	3ヶ月に1回目標をたて、達成度を示していく
(達成率)	75%
(評価)	フロアミーティングは実施できていないが、aipoを活用し情報共有できている 3か月毎の目標は、フロア内で職員全員意識し取り組むことができた コロナ関係でご利用者の方に負担をかけてしまった 職員の徹底した感染対策のお陰で、早く収束することができた

(ミーティングの開催) なし

(4) 介護部2階の目標と評価

(職員構成)

主任、副主任、ケア専門員、介護職員

(目標)	コロナ禍・様々な感染症、また限りある介護スタッフの中でも、ご利用者の気持ちを汲み取り希望を実現していく
(実行計画)	業務と働き方の見直しと改善を継続し、叶える事の出来る希望を実行する
(数値目標)	ケース記録担当者を中心に介護部2階スタッフ全員で取り組み、大小関係なくニーズの実現
(達成率)	65%
(評価)	フロア内でご利用者、職員共にコロナ感染拡大も発生した中で、事態の收拾と、更なる感染予防に尽力した1年間であったと感じる その渦中であっても{出来る事}{小さな事柄}を中心に最大限で目標に尽くしたと思う

(ミーティングの開催) 未開催 勤務中での情報収集と情報交換
介護部2階用aipoの活用で小規模ミーティング

(5) 介護部3階の目標と評価

(職員構成)

主任、副主任、介護職員

(目標)	優しさ繋ぐ思いやりリレー
(実行計画)	ご利用者の事を第一優先し、次の職員へたすきを繋いでいく
(数値目標)	強化すべき事柄に重きを置き、ウィークポイントをなくしていく
(達成率)	70%
(評価)	aipo活用によりフロア内の情報共有は出来たが、今年度もコロナウイルスに振り回された1年間であった 皆が必死に頑張ったが、1年間通して職員数が少なく、思うような十分な介護が出来なかった

(ミーティングの開催) 月例で不定期にaipoによる意見交換実施

(6) 看護部の目標と評価

(職員構成)

主任、看護職員、介護助手

(目標)	他部署との連携強化と業務改善を行い、ご利用者の健康・安全・安楽な生活の確保に努める
(実行計画)	情報共有と業務の見直し、部署内での担当業務の確認により適切な看護業務ができる
(数値目標)	月1回ナースミーティング見直しと評価をする
(達成率)	90%
(評価)	コロナ感染症発生にはご利用者の体調管理と感染対策への取り組みができた 拡大時にはミーティングの開催はできなかったものの、職員の変動もある中でその都度役割分担含め情報の共有と検討を行い見直しと対応ができた

(ミーティングの開催) 年間8回

(7) 給食部の目標と評価

(職員構成)

主任、副主任、管理栄養士、調理職員

(目標)	特別食の充実
(実行計画)	各利用者に合った希望食・ミキサー食を提供する
(数値目標)	食事量のUPに繋げていく
(達成率)	90%
(評価)	看護部や管理栄養士からの情報を元に食事内容を検討し、ミキサー食の方だけでなく、看取り期の方にも希望食の食事を提供できた

(ミーティングの開催) 月例で12回

4. 面会状況

(1) オンライン面会

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間(件)
実施回数	6	0	13	4	13	13	5	4	5	2	0	5	70
昨年度	11	15	13	11	10	14	12	11	12	7	9	12	137

※ 令和2年6月11日からオンライン面会開始

※ 登録者家族32名

(2) 窓ごし・談話室面会

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間(件)
面会回数	43	0	72	67	61	85	74	84	80	40	0	58	664
昨年度	53	60	64	78	53	72	80	77	93	58	72	84	844

※ 令和2年7月1日から窓ごし面会開始

※ 令和4年4月14日から5月31日まで、窓ごし面会の規制(感染症対策として)

※ 令和5年1月14日から2月28日まで、窓ごし面会の規制(感染症対策として)

※ 看取り期や、特別な事柄での居室面会は数は省く

軽費老人ホーム

いずみ寮



4月 お花見



6月 野外食



8月 夏まつり



10月 運動会



10月 さつま芋掘り



11月 お茶席(文化祭)



1月 新年祝賀会



1月 とんど

1. 利用状況

(1) 入退所

	月初利用者	入所	退所	入院他	職員数
4月	50	0	0	5	14.5
5月	50	0	1	2	14.5
6月	50	1	0	1	14.5
7月	50	0	0	7	14.5
8月	50	0	1	5	14.5
9月	50	1	0	2	14.5
10月	50	0	0	3	14.2
11月	50	0	2	4	14.2
12月	50	2	0	2	14.2
1月	50	0	1	3	14.2
2月	50	1	0	2	14.2
3月	50	0	2	1	14.2
計		5	7	37	14.4
前年度計		9	9	53	14.7

(2) 性別・年齢別（3月末現在）

	64歳以下	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100歳以上	合計	平均
男性	0	0	1	0	2	2	2	0	0	7	84.7
女性	1	0	0	5	5	10	14	6	2	43	87.8
計	1	0	1	5	7	12	16	6	2	50	87.3
前年度計	1	0	2	4	12	12	12	6	1	50	86.3

(3) 介護度別（3月末現在）

	非該当	要支援1	要支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
男性	0	1	0	3	2	1	0	0	7
女性	9	2	5	15	10	2	0	0	43
計	9	3	5	18	12	3	0	0	50
前年度計	10	4	6	16	10	3	1	0	50

2. 行事、ボランティア等

(1) 主な行事

月・日	行事	参加人数	月・日	行事	参加人数
4月4～8日	お花見	43	11月21～26日	お楽しみ食提供	46
5月9日	避難訓練(日中想定)	35	11月30日	オミクロン株対応ワクチン予防接種	44
6月6・10日	野外食・害虫駆除消毒	46	12月15・19日	利用者健康診断	47
6月28日	利用者コロナワクチン予防接種	40	12月16日	年末特別しゃろーむ	43
7月5日	七夕飾り	11	12月23日	燭火礼拝	23
7月7・8日	期日前投票(参議院議員選挙)	8	12月24日	クリスマス会	46
8月29日	夏祭り	43	12月28日	フラワーアレンジメント	14
9月7日	避難訓練(水害想定)	37	1月1日	新年祝賀会	49
9月19日	敬老長寿の祝会	48	1月15日	とんど	26
10月14日	避難訓練(夜間想定)	31	2月3日	節分祭	36
10月17日	運動会	43	2月13日	スポーツ大会(ポケネット)	41
10月20日	干し柿作り	11	3月17日	世話委員選挙	35
10月24日	さつま芋堀り	10	3月21日	世話委員交代式	32
11月1～7日	文化祭(2日お茶席)	39	3月27～31日	お花見	33
11月9日	利用者インフルエンザ予防接種	47			

(2) 月例行事等

しゃろーむ(喫茶)		お茶会	コロナの為中止
買い物外出		祈祷会	コロナの為中止
やよい会(自治会)		八坂町交流グランドゴルフ	コロナの為中止

(3) 地域交流 (行事と重複あり)

6月6・10日	野外食	コロナの為中止
8月29日	夏祭り	コロナの為中止
月 日	芳田小学校5年生との交流会	コロナの為中止
月 日	芳田小学校音楽会	コロナの為中止
11月1～7日	文化祭	コロナの為中止
月 日	芳田こども園との交流会	コロナの為中止
12月16日	年末特別しゃろーむ	コロナの為中止

(4) レクリエーション・リハビリテーション・クラブ活動

毎 週	回 数	延べ参加者	月 例	回 数	延べ参加者
お楽しみ会	48	635	お茶会	1	39
奉仕	18	198	喫茶しゃろーむ	12	384
リクエストのつどい	38	619	絵手紙	0	0
カラオケ	0	0	書道	12	90
聖日礼拝(オンライン)	51	702	買い物外出	22	74
遊びリハビリテーション	54	540	やよい会	12	410
グランドゴルフ	1	12	祈祷会	0	0
(毎日ラジオ体操・棒体操・歩け歩け運動)			八坂町交流グランドゴルフ	0	0

(5) ボランティア

ボランティア名	回 数	延べ人数	前年度延べ人数
カット訪問(しおんしおん)	月 1 回	24	12
お茶会	月 1 回	コロナの為中止	0
絵手紙	月 1 回	コロナの為中止	0
傾聴	月 1 回	コロナの為中止	0
歌の集い	月 2 回	コロナの為中止	0
大正琴	年 1 回	コロナの為中止	0
手芸	年 1 回	コロナの為中止	0
餅つき	年 1 回	コロナの為中止	0

3. いずみ寮の目標と評価

(職員構成)

寮長、事務員、相談員、介護職員、看護師、給食職員

(目 標)	ご利用者が安心して生活できるよう支援する
(実行計画)	筋力低下を防ぐため、レクリエーションへの参加や個人目標の達成を目指す支援を行う
(数値目標)	個別ケアチェック表を作成し、毎月チェックする
(達成率)	80%
(評 価)	個人目標の達成について、意識を持って取り組まれる方もあったが、全員の方が満足される結果にはならなかった。しかし、レクリエーションへの参加人数は徐々に増えており、楽しみながら筋力低下の予防に繋げることができた

(ミーティングの開催) 月例で12回

ケアハウス
ハンナ館



4月 お花見散歩



5月 避難訓練



6月 野外食



8月 夏祭り



10月 吊るし柿作り



10月 運動会



11月 お茶会



12月 クリスマス会

1 .利用状況

(1)入退所

	月初利用者	入所	退所	入院他	職員数
4月	15	1	0	1	3.0
5月	15	0	0	1	3.0
6月	15	0	1	1	3.0
7月	15	1	0	1	3.0
8月	15	0	0	0	3.0
9月	15	0	0	0	3.0
10月	15	0	0	0	3.0
11月	15	0	0	0	3.0
12月	15	0	1	0	3.0
1月	15	1	0	0	3.0
2月	15	0	0	0	3.0
3月	15	0	0	1	3.0
合計	180	3	2	5	36
前年度合計	179	4	4	5	39.6

(2)性別・年齢別(3月末現在)

	64歳以下	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100歳以上	合計	平均
男性	0	0	1	3	0	0	0	1	0	5	79.6
女性	0	0	0	1	1	2	5	1	0	10	88.6
計	0	0	1	4	1	2	5	2	0	15	85.7
前年度計	0	0	2	1	0	3	5	3	0	14	87.9

(3)介護度別(3月末現在)

	非該当	要支援1	要支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
男性	2	1	0	0	1	1	0	0	5
女性	2	1	3	2	2	0	0	0	10
計	4	2	3	2	3	1	0	0	15
前年度計	4	0	3	3	4	0	0	0	14

2 .行事

(1)主な行事

月 ・ 日	行 事	参加人数	月 ・ 日	行 事	参加人数
5 月 10 日	避難訓練	11	10 月 27 日	日帰り旅行(2班)	7
6 月 2 日	野外食	13	11 月 7 日	お茶会	13
8 月 8 日	夏祭り	14	12 月 22 日	クリスマス会	14
9 月 19 日	敬老祝会	14	1 月 19 日	初釜	14
10 月 3 日	運動会	14	1 月 23 日	新年会(囲碁ボール大会)	12
10 月 11 日	避難訓練	10	3 月 2 日	ひな祭り会	13
10 月 26 日	日帰り旅行(1班)	8			

(2)月例等行事

行 事	備 考
ハンナ会	入居者自治会
買物代行	月2回
訪問販売	月2回
喫茶ぐれいす	月1回
誕生会	月1回
オンライン礼拝	週1回

(3)レクリエーション・リハビリテーション・クラブ活動等

活 動	備 考
健康体操、おりひめ体操	毎朝
手芸	随時
口腔体操	昼食前随時
遊びリテーション	随時
健幸の集い	週1回

3. ハンナ館の目標と評価

(職員構成)

館長、相談員(主任)、介護職員、調理職員

(目 標)	安心した生活を送れるよう支援する
(実行計画)	一人一人の個性を大切にしつつ気持ちに寄り添う
(数値目標)	毎月カンファレンスを開催する
(達成率)	100%
(評 価)	毎月ミーティング時にカンファレンスを行い情報を共有すると共に意見交換を行い、 ご利用者それぞれの課題を検討し、それに沿った支援を行っている

(ミーティングの開催) 月例で12回

デイサービスセンター

ナオミ館



5月

戸外散歩



6月 梅狩り



7月 壁画作り



11月 さつま芋掘り



12月 クリスマス会



3月 雛人形作り

1. 利用状況

(1) 利用者数

月別実利用者数

	実利用者数											
	総合事業			通所介護					合計	性別		新規利用者
	予防相当	ミニデイ	入浴デイ	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5		男性	女性	
4月	10	2	1	16	22	11	7	1	70	23	47	1
5月	9	2	2	15	19	11	7	1	66	21	45	0
6月	8	1	2	15	23	12	6	2	69	20	49	3
7月	8	1	2	14	22	13	4	2	66	19	47	1
8月	9	1	2	13	20	10	4	2	61	18	43	2
9月	10	1	2	14	17	10	3	2	59	18	41	2
10月	11	1	2	15	18	11	3	2	63	18	45	4
11月	8	1	3	16	17	13	2	2	62	18	44	1
12月	9	1	2	15	16	11	3	2	59	16	43	1
1月	8	1	2	17	16	12	3	1	60	18	42	3
2月	10	1	2	17	16	10	3	1	60	17	43	1
3月	11	1	2	18	16	10	3	1	62	16	46	2
合計	111	14	24	185	222	134	48	19	757	222	535	21
前年度合計	125	30	28	201	255	154	53	4	850	245	605	25
平均	9.3	1.2	2.0	15.4	18.5	11.2	4.0	1.6	63.1	18.5	44.6	1.8
前年度平均	10.4	2.5	2.3	16.8	21.3	12.8	4.4	0.3	70.8	20.4	50.4	2.1

延利用数

	延利用者数									その他		
	総合事業			通所介護					合計	1日平均 利用数	稼働 日数	職員数
	予防相当	ミニデイ	入浴デイ	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5				
4月	42	7	4	94	158	82	56	7	450	19.6	23	8.9
5月	36	7	8	78	140	85	52	8	414	17.3	24	8.9
6月	42	4	8	110	186	97	47	10	504	19.4	26	8.9
7月	37	5	9	103	185	101	44	11	495	19.0	26	8.9
8月	25	2	6	64	91	52	31	9	280	16.5	17	8.9
9月	44	3	8	105	139	60	35	12	406	15.6	26	7.9
10月	51	5	10	116	175	90	38	12	497	19.1	26	8.1
11月	39	4	12	121	161	103	29	10	479	18.4	26	8.1
12月	42	4	8	112	148	103	34	10	461	17.7	26	8.1
1月	34	3	8	95	127	74	28	8	377	16.4	23	7.5
2月	44	2	8	109	138	81	33	7	422	17.6	24	7.5
3月	54	3	4	131	133	83	30	7	445	16.5	27	7.5
合計	490	49	93	1,238	1,781	1,011	457	111	5,230	213.1	294	99.2
前年度合計	607	121	131	1,231	2,155	1,017	478	44	5,784	232.8	299	102.6
平均	40.8	4.1	7.8	103.2	148.4	84.3	38.1	9.3	435.8	17.8	24.5	8.3
前年度平均	50.6	10.1	10.9	102.6	179.6	84.8	39.8	3.7	482.0	19.4	24.9	8.6

(2) 性別・年齢別(3月末現在)

	64歳 以下	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100歳 以上	合計
男性	0	0	1	0	4	4	6	1	0	16
女性	0	0	0	0	4	18	15	8	1	46
計	0	0	1	0	8	21	20	9	1	62
前年度計	0	0	0	0	16	28	15	6	0	65

2. 主なプログラム

月	日	行 事	行 事	行 事
4	4～9	花見	カレンダー色塗り	絵遊び・個別リハ
5	5～7	洋菓子作り	戸外散歩	絵遊び・個別リハ
6	1～7	飾り作り	カレンダー色塗り	絵遊び・個別リハ
7	8～14	置物作り	カレンダー色塗り	絵遊び・個別リハ
8	8～13	和菓子作り	壁画作り	絵遊び・個別リハ
9	5～10	和菓子作り	カレンダー色塗り	絵遊び・個別リハ
10	17～22	絵手紙	壁画作り	絵遊び・個別リハ
11	21～26	和菓子作り	カレンダー色塗り	絵遊び・個別リハ
12	19～24	クリスマス会	壁紙作り	絵遊び・個別リハ
1	1～14	干支の色紙作り	カレンダー色塗り	絵遊び・個別リハ
2	15～21	節分祭	壁画作り	絵遊び・個別リハ
3	25～31	感謝状贈呈式	雛祭り	絵遊び・個別リハ

3. ナオミ館の目標と評価

(職員構成)

所長、主任、副主任、介護職員、看護職員、運転員

(目 標)	部署間の連携を確立し、ご利用者のニーズに柔軟に対応する
(実行計画)	職員各々のスキルを向上し、ご利用者の満足度を上げる
(数値目標)	業務を可視化できるようデータ化し、職員に業務内容の周知を図る
(達成率)	70%
(評 価)	部署間の連携は密にでき、ご利用者のニーズにも柔軟に対応することができた 職員への業務内容の周知が、全職員へ均等には出来なかった

(ミーティングの開催) 月例で12回

(部署内研修) なし

みぎわ園

居宅介護支援事業所 在宅介護支援センター



2月 いきいきサロン（水尾町）



11月 多可高校 出前授業
(県立多可高等学校)

1. 居宅介護支援事業所 担当状況

(1) 利用者数

	事業 対象者	実利用者数											その他 職員数
		介護予防		介護					合計	性別		新規 人数	
		支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5		男性	女性		
4月	1	8	20	37	29	16	9	6	126	33	93	0	3.5
5月	1	8	20	37	29	14	10	5	124	33	91	0	3.5
6月	1	8	20	35	30	13	9	5	121	32	89	1	3.5
7月	1	8	20	32	31	14	8	5	119	33	86	0	3.5
8月	1	8	20	27	26	9	8	5	104	29	75	1	3.5
9月	1	7	21	22	27	9	8	4	99	29	70	1	3.5
10月	1	6	18	22	28	9	5	4	93	26	67	2	3.5
11月	1	5	15	26	29	9	7	4	96	31	65	1	3.5
12月	1	5	15	24	30	6	8	3	92	26	66	2	3.5
1月	1	5	16	26	27	6	10	3	94	25	69	3	3.5
2月	1	4	16	27	24	8	8	3	91	24	67	1	3.5
3月	1	3	16	32	29	9	8	4	102	25	77	6	3.5
合計	12	75	217	347	339	122	98	51	1,261	346	915	18	42
前年度 合計	12	120	305	609	402	195	146	61	1,850	548	1,302	22	54
平均	1.0	6.3	18.1	28.9	28.3	10.2	8.2	4.3	105.1	28.8	76.3	1.5	3.5
前年度 平均	1.0	10.0	25.4	50.8	33.5	16.3	12.2	5.1	154.2	45.7	108.5	1.8	4.5

(2) 性別・年齢別 (3月末現在)

	59歳 以下	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95歳 以上	合計
男性	0	1	0	3	3	4	6	8	0	25
女性	0	0	0	4	7	9	20	26	11	77
計	0	1	0	7	10	13	26	34	11	102
前年度計	0	1	0	10	14	19	39	33	12	128

(3) 介護度別 (3月末現在)

	事業 対象	要支援 1	要支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合計
男性	1	0	2	5	7	4	4	2	25
女性	0	3	14	27	22	5	4	2	77
計	1	3	16	32	29	9	8	4	102
前年度計	1	8	20	38	29	18	9	5	128

2. 在宅介護支援センター 活動状況

(1) 相談等日常活動件数

	相談状況		相談内容(重複あり)										合計	訪問時 不在 件数
	実件数	延件数	介護	介護 保険	医療	認知症	福祉 サービス	権利 擁護	生活 全般	関係 機関	その他	介護 予防		
4月	55	59	0	2	2	0	0	0	2	2	55	1	64	1
5月	55	69	0	8	2	1	4	0	3	8	57	7	90	4
6月	55	68	0	5	0	0	4	0	1	2	59	2	73	9
7月	61	73	0	4	1	1	2	0	2	5	61	9	85	9
8月	51	68	0	2	0	2	2	0	2	5	56	1	70	7
9月	56	57	0	3	0	0	0	0	0	0	54	4	61	9
10月	55	59	0	0	0	0	0	0	0	0	55	4	59	9
11月	53	62	0	2	0	0	0	0	1	2	53	5	63	4
12月	51	58	0	4	0	1	2	0	0	9	50	0	66	12
1月	60	70	1	6	2	1	2	1	0	5	60	3	81	7
2月	58	63	0	4	0	0	0	0	0	2	57	0	63	4
3月	53	70	0	5	1	0	3	0	0	8	56	1	74	12
合計	663	776	1	45	8	6	19	1	11	48	673	37	849	87
前年度 合計	634	744	2	56	11	13	19	0	11	33	643	51	839	55
平均	55.3	64.7	0.1	3.8	0.7	0.5	1.6	0.1	0.9	4.0	56.1	3.1	70.8	7.3
前年度 平均	52.8	62.0	0.2	4.7	0.9	1.1	1.6	0.0	0.9	2.8	53.6	4.3	70.0	4.6

3. 居宅介護支援事業所・在宅介護支援センターの目標と評価

(職員構成)

所長、主任、介護支援専門員

(目 標)	そよかぜソフトの活用を見直し、業務の効率化を目指す
(実行計画)	①従来使用している様式からソフトにデータを移行することにより、計画書作成から評価に至るまでの業務を洩れなく、効率よく行う ②ご利用者の安心に繋がるようきめ細やかな訪問をすることで、先にみえるであろうニーズの発掘に繋げる
(数値目標)	①すべての業務様式をそよかぜソフトに移行する ②月50件訪問する
(達成率)	75%
(評 価)	①訪問履歴・モニタリングなど、項目によって個々に活用できているが、すべてのデータを連動させるまでには至っていない ②適宜、介護保険申請、その後包括支援センターへの連絡調整、また要望あれば西脇市乗合タクシー(むすブシ)の申請代行等行っている 毎月、50件を超える訪問は実施できた

(ミーティングの開催)

月例で12回
伝達会議 週1回開催

4. その他の活動

- ・ 西脇・多可支部 主任介護支援専門員連絡会

感染症予防の為、未開催

- ・ 在宅介護支援センター連絡会

令和4年4月19日 令和4年度の事業体制及び令和3年度の活動報告

令和4年6月14日 各機関からの報告／高齢者虐待防止について意見交換

令和5年1月17日 各機関からの報告及び情報交換会

- ・ 介護予防教室

令和4年10月18日 水尾町いきいきサロン

令和5年2月18日 芳田直売所ふれあいサロン

- ・ 芳田自治協議会 福祉部会

部会出席(5回)

総会出席

芳田の里ふれあいフェスタ参加

- ・ 認知症サポーター養成講座

令和4年9月13日 豊友会サロン (於 豊川町公民館)

令和5年3月23日 明楽寺町いきいきサロン (於 明楽寺町公民館)

みぎわ園

ヘルパーステーション



8月 家事支援



ヘルパー使用車両

1. 利用状況

(1)利用者数

	実利用者数										
	総合事業		訪問介護						性別		新規 利用者
	相当 サービス	家事支援 サービス	介護					合計	男性	女性	
			1	2	3	4	5				
4月	10	3	21	17	4	1	0	56	11	45	1
5月	10	3	21	18	4	1	0	57	10	47	1
6月	10	3	20	20	4	1	0	58	9	49	2
7月	9	3	26	19	3	0	0	60	13	47	3
8月	10	1	26	16	4	0	0	57	11	46	0
9月	9	2	26	14	4	0	0	55	11	44	0
10月	9	2	26	17	4	0	0	58	11	47	2
11月	7	2	28	18	4	0	0	59	11	48	1
12月	7	2	29	17	4	0	0	59	11	48	2
1月	8	2	24	18	4	2	0	58	10	48	1
2月	8	2	23	18	4	2	0	57	10	47	0
3月	7	2	23	19	4	2	0	57	9	48	1
合計	104	27	293	211	47	9	0	691	127	564	14
前年度 合計	124	36	254	186	41	19	0	660	129	531	16
平均	8.7	2.3	24.4	17.6	3.9	0.8	0.0	57.6	10.6	47.0	1.2
前年度 平均	10.3	3.0	21.2	15.5	3.4	1.6	0.0	55.0	10.8	44.3	1.3

(2)延利用者数

	延利用者数										
	総合事業		訪問介護						性別		職員数
	相当 サービス	家事支援 サービス	介護					合計	男性	女性	
			1	2	3	4	5				
4月	75	8	165	134	37	51	0	470	85	385	4.8
5月	59	8	150	120	38	54	0	429	77	352	4.8
6月	71	10	184	140	39	27	0	471	86	385	4.8
7月	61	7	245	122	45	0	0	480	132	348	4.8
8月	59	6	272	93	24	0	0	454	150	304	4.8
9月	49	6	259	86	32	0	0	432	146	286	3.8
10月	58	3	272	113	31	0	0	477	146	331	3.8
11月	45	7	274	117	38	0	0	481	142	339	3.8
12月	46	6	285	117	42	0	0	496	155	341	3.8
1月	45	5	205	97	24	24	0	400	90	310	3.8
2月	40	6	164	127	20	24	0	381	84	297	3.8
3月	43	7	227	126	26	14	0	443	106	337	3.8
合計	651	79	2,702	1,392	396	194	0	5,414	1,399	4,015	50.6
前年度 合計	729	102	2,451	1,582	358	242	0	5,464	990	4,474	48.0
平均	54.3	6.6	225.2	116.0	33.0	16.2	0.0	451.2	116.6	334.6	4.2
前年度 平均	60.8	8.5	204.3	131.8	29.8	20.2	0.0	455.3	82.5	372.8	4.0

(3) 性別・年齢別(3月末現在)

	64歳 以下	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100歳 以上	合計
男性	0	0	1	0	1	5	2	0	0	9
女性	1	0	2	5	5	10	14	9	2	48
計	1	0	3	5	6	15	16	9	2	57
前年度計	1	0	3	5	10	16	15	8	0	58

(4) 介護度別(3月末現在)

	事業 対象	要支援 1	要支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合計
男性	0	1	0	3	4	1	0	0	9
女性	1	0	7	20	15	3	2	0	48
計	1	1	7	23	19	4	2	0	57
前年度計	1	3	10	21	17	4	2	0	58

2. ヘルパーステーションの目標と評価

(職員構成)

所長、主任、訪問介護員

(目 標)	安心感あるサービスを提供する
(実行計画)	訪問介護計画書に沿ったサービスを提供できるよう技術を上げ、見直しを行う
(数値目標)	毎月ミーティングで一つの課題に取り組む 3か月に一度計画の見直しをする
(達成率)	80%
(評 価)	計画の見直しは順次行っているが、年度前半は間に合わず、まとめて見直すことがあった ご利用者に体調変化があった時はその都度ケアマネージャーに報告、相談できた ミーティングでの課題への取り組みは年4回実施できた

(ミーティングの開催) 年12回

3. 外部交流会

コロナ感染予防のため中止

社会福祉法人 みぎわ会

倫理綱領

社会福祉法人みぎわ会は、社会福祉事業法に基づき、社会福祉法人として「1968年12月23日」に設立された。創立者のキリスト信仰に根ざした「奉仕と隣人愛」がその基本理念である。

みぎわ会の法人役員及び職員は、法人の公共性と論理性を自覚すると同時に、民間社会福祉事業の持つ「先駆性、柔軟性」を尊重し、事業を通じて「神と人に仕える」創立精神を失わず、地域社会の福祉推進に役立つことを希い、ここに倫理綱領を定める。

1. 施設の使命

施設を利用する人たちが、その長寿を喜びとして満足度の高い生活を創造し、感謝の中に天寿を全うされることを目標とし、その達成のために、文化的で暖かい生活環境を整え、適切且つ良質なサービスの提供に励むことを使命とする。

2. 施設経営と運営の公正遵守

施設は社会資源として公的援助に守られ、地域社会の支持を受けて行う事業であることを深く認識し、公正、清明且つ健全な経営と、公平で進歩的な運営に努力する。

3. 職員の資質向上

豊かな、良質なサービスは、職員のすぐれた品性と、持続的な学習によらなければ生まれ得ぬものである。施設職員はこのことを強く心に留め、個々の立場で自己の専門的能力と品性の向上に努力すると共に、各職部門のよきチームワークの成立を志す。

4. 地域活動の展開と推進

社会福祉施設は地域社会の福祉推進の拠点と認められている。当然私たちは地域社会の多様なニーズに、いつでも具体的、専門的に対応できる可能性の蓄積に常に努力し、その役割を果たしてゆきたい。

5. 安全確保の責任と準備

施設は利用者の生命の安全を守る責任がある。火災予防をはじめ、不慮の災害発生に対し緊急連絡体制、生活物資の確保、避難順路(方法)確立等、万全の備えを期すべきである。

職員憲章(行動規範)

『自分にしてもらいたいと望むとおり 人にもそのようにしなさい』

(聖書:ルカによる福音書 6 章 31 節)

一、私たちは、「奉仕と隣人愛」を基本理念として、

社会福祉の推進に努めます

一、私たちは、ご利用者の人権を尊重し、福祉の心を持って

全人的な支援を行います

一、私たちは、自己の専門的能力と品性の向上に努め、

明るい職場づくりを目指します